

◎ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「勉強は何のため？」

2018年は明治維新から150周年。そして平成最後の年となりました。NHKの大河ドラマでは、「西郷どん」が放映されていますが、歴代大河ドラマの中でも戦国時代と幕末を舞台にしたドラマの人氣が高いそうです。古いものを打ち壊し、新しい時代をつくるというストーリーが日本人には好まれるのかもしれない。また、この時代を動かしていた多くの人が20代〜30代で子どもころから恵まれた環境にいたわけではなく、一般的な人々であったというのも理由なのではないかと思えます。

そして現在。いま注目キーワードといえばAI（人工知能）ではないでしょうか。このAIが人から職業を奪うのではないかと、人間の能力を上回るのではないかと、といわれもう数年が経ちます。比較しても意味がないとわかっていながら、何かと比較される人間とAI。知識の量でいえば人間は到底およびませんが、人間には知識を知恵に変えることができる、AIにはできない能力がある、というコラムを読みました。

頭脳は、過去に得た知識や出来事をすぐに忘れてしまうようになってきていて、記憶をしてもほんの少ししか取り出すことができないそうです。確かに、小学校からずっと学び、社会にでてからもたくさん知識を得ましたが、すっかり忘れてしまっていることがたくさんあります。しかし、人間は知らないうちに様々な知識を知恵に変えて仕事や生活に生かしているそうです。

すっかり忘れてしまったと思っても、もう一度、やってみたらすんなりできた、又は理解できた、このような経験はありませんか？体が覚えている、とよく言いますがそれに近いようなことはよくあります。

このような例が当てはまるかわかりませんが、理科は苦手でも

気象に興味があった私は今でも天気予報や天気図をみて、自分なりに予想をしたりしています。地図をみるのも好きだったので、デジタル時代になっても、紙の地図以上にフル活用し、渋滞情報から考えてそのときの段取りを変更したりします。「勉強しなきゃだめ」と大人から言われ続けた意味がようやくわかるような気がします。

戦国時代、幕末の先人たちも、得た知識を知恵に変えて生きていたのかもしれません。知識は誰が聞いても見ても、おおよそ同じだと思えますが、知恵は今までの知識や経験から自分が考え出したものだと思えます。

十一月後半に専門学校の講師に招かれ、20歳前後の学生を前に話をしてきました。その技術がどんなものなのか、今後どのように役立つのかを自分なりに話しましたが、学生にどこまで理解してもらえたかはわかりません。ひと通りの知識を伝えたつもりですが、彼らにもぜひ、知識（点）を知恵（線）に変えてこれからの社会人生活に役立ててほしいと思ひ3日間の講義が終わりました。

話は変わりますが、学生に教えるために準備、勉強してきたおかげで、自分でもさらに理解を深めることができました。あのドラッカーも、「人に教えることによつて、一番よく学ぶ」といっています。教師側は初めての経験だったため、事前準備の大切さ、そして予定通りに修了すること（今回は3日間で1冊のテキストを修了）、教える側の難しさというものを初めて知りました。この貴重な経験をまた新しい知恵に変えられるようにしていきたいと思ひます。

ご案内

低コストで高機能な
簡単更新プログラム

簡単更新くん

簡単更新くんは用途に合わせて、御社のご要望にあわせてシンプルに作成します。だから、使わない機能は当初からありません。誰でも迷わず更新できます。

この件に関する問い合わせ
ラップ東京株式会社
TEL:042-349-3535
(担当：田島)

※ラップニュース バックナンバーはホームページからご覧いただけます。

※ アンケートがありますのでよろしかったら、ご意見を聞かせください。
<http://www.raptokyo.co.jp/>

良いお年をお迎えください。